

アンチエイジング

ヒト幹細胞培養液のバイオニア エクソソームリッチと第三世代原料で差別化

アンチエイジングは、国内のヒト幹細胞培養液におけるバイオニアとして、2012年の設立以来ヒト幹細胞培養液を専門に化粧品原料を供給し続けている。100%のヒト幹細胞培養液の原液から、濃度別にリポソームにしたヒト幹細胞培養液をラインナップに揃え、どのような用途にも活用できる原料を提供している。近年では独自の培養法によってエクソソームリッチな幹細胞培養液として注目を集めている。

独自ローリングボトル培養でエクソソームが10倍リッチに

独自のローリングボトルという培養法と生体を模倣した刺激を培養中に施すことで、トラブルに対する役割を担っている。このローリングボトル培養を行うことで、成長因子などのサイトカイン

も通常の約10倍豊富な状態となっている。現在アンチエイジングのヒト幹細胞培養液は、濃度97%の「Remyev」を筆頭に、それを50・30・10%の「RS Liposome シリーズ」と、エクソソームを高濃度に配合しリポソームとハイブリッドした「RemyEV」などがラインナップの中心となっている。

同社の幹細胞培養液はどれもエクソソームリッチな原料であるが、エクソソームの表示名称「ヒト脂肪由来間葉系細胞工」が第二世代

コロナ禍の中、幹細胞培養液を中心に拡大続けるメーカー

これまで、同社の原料は9つの安全性試験をクリアしており、ドナーのウイルスチェックも十分に行われている。美容に関するデータも、線維芽細胞の増殖・コラーゲンやヒアルロン酸の生成、ケラチンサイ

さらに17年には百貨店に店舗をオープンし、サロン以外の顧客にもヒト幹細胞培養液の良さをアピールし、それをサロン

2020年はコロナ禍で理美容も大きな打撃を被ったが、そんな中でも「アクティバート」は安定成長を続けている。同ブランドは、美容室



頭皮や毛髪の健康を取り戻すことで、美容室本来の美容やデザインの幅を広げることができ、美容室の活気につながる。エスデティックサロン



牛島社長 プロの世界でメジャーに押し上げた立役者と言っている。



この成功は美容室に美容以外の概念を持ち込んだことだ。つまり、

この成功は美容室に美容以外の概念を持ち込んだことだ。つまり、

特集 幹細胞コスメ